



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

第6回日本公衆衛生 看護学会学術集会

テーマ：公衆衛生看護の原点から未来につなぐー健康格差解消にむけ、地域の人々と協働する新たな保健師の力の共有

日程：1月6日(土)・7日(日)

会場：大阪国際会議場 グランキューブ大阪(大阪市北区)

プログラム：

[1月6日]

学術集会会長講演「公衆衛生看護の原点から未来へつなぐー健康格差解消にむけ、地域の人々と協働する新たな保健師の力」上野昌江(大阪府立大学大学院看護学研究科)／基調講演「格差の中の死から学び、生きる支援としてのまちづくりへ」反町吉秀(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺総合対策推進センター地域連携推進室)／ランチョンセミナー「高周波電磁界の健康リスク評価ーWHOの国際電磁界プロジェクトを中心に」／ランチョンセミナー「結核対策について知っておくべきこと」／教育講演Ⅰ「Public Health Nurses — “Kuroko” addressing health disparities in the U.S.」Lee Smithbattle(セントルイス大学看護学部)／特別シンポジウム「健康格差縮小に向けた公衆衛生活動ー保健師への期待」松田亮三(立命館大学)／特別シンポジウム「特定健診未受診者への家庭訪問からみえた健康格差の実態と支援」和泉京子(武庫川女子大学)／特別シンポジウム「離島における地域包括ケアシステムの基盤整備」森山美知子(広島大学)／ヒストリカルセミナーⅠ「保健師の力量格差と地域の健康問題の取り組み」久常節子(元日本

看護協会会長)／イブニングセミナー「目からうろこの足と靴のお話し」

[1月7日]

教育講演Ⅱ「10代の母親理解と支援のあり方」森本志磨子(NPO法人子どもセンターぬっく理事長)／シンポジウムⅠ「場の特性を活かし健康格差に取り組む」有馬和代(大阪市東住吉区)、武藤昌子(東京東部地域産業保健センター)、廣末ゆか(高知県中芸広域連合)、持田恵理(群馬県邑楽郡大泉町役場)／ランチョンセミナー「体内時計を整えてより良く眠る方法とは!」／ランチョンセミナー「格差の可視化で保健事業が変わる!」／アクティビティ「堺コッカラ体操」今津弘子(堺市)／ヒストリカルセミナーⅡ「公衆衛生看護としての学校看護の歴史と課題」瀧澤利行(茨城大学)／シンポジウムⅡ「着実に積みあげる保健師の力量形成」中板育美(日本看護協会)、森永裕美子(国立保健医療科学院)、荻本初音(大阪市健康局健康推進部)、蒲田廣子(豊中市)／市民公開講座(参加費無料)『在宅医療』知っていますか?家で最期まで療養したい人に。ーALS的日常生活を生きる患者・家族 保健師さんの役割とは」川口有美子(日本ALS協会)

参加費：会員(事前)8000円、会員(当日)9000円、非会員(事前)9000円、非会員(当日)1万円、学生(院生除く)3000円

問い合わせ：

[学術集会事務局]

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3-7-30 大阪府立大学大学院看護学研究科 地域看護学分野内(事務局長：大川聡子)

✉ japhn-6@nursing.osakafu-u.ac.jp

[運営事務局]

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内(担当：国井)

☎ 050-3737-7331

✉ japhn6@yupia.net

日本訪問看護財団研修

病院看護師と訪問看護師の協働セミナー

日時：1月27日(土)

会場：ハートンホテル南船場(大阪市中心区)

内容：退院前支援の必要性／患者・家族の意思決定支援／在宅ケアチームとの連携のポイント／病院の看護師と訪問看護師との協働による在宅移行期・退院後の支援の実例／病院看護師と訪問看護師の連携の促進と地域での取組み／困難な事例の在宅移行支援／病院から在宅への移行支援について」意見交換

講師：大濱江美子(大阪市立総合医療センター社会福祉士・精神保健福祉士)、錦織法子(人といのちの自然学校訪問看護ステーションゆいか総括所長)

対象：訪問看護師、退院調整に関わる看護師など

受講料：8000円

在宅での喀痰吸引・経管栄養管理ー第3号研修における実地指導者の養成セミナー

日時：1月28日(日)

会場：ハートンホテル南船場(大阪市中心区)

内容：介護職員等による喀痰吸引等に関する研修制度と安全管理／喀痰吸引と経管栄養の実地研修(演習含む)／実地研修指導者の実際

講師：安藤真知子(財団事務局次長)、長濱あかし(財団立刀根山訪問看護ステーション統括所長)、村田直子(財団立刀根山訪問看護ステーション所長)

対象：退院支援に従事する病棟看護師、医療的ケアを行う介護職員との連携および指導に携わる訪問看護師など

受講料：会員 8000円、非会員 1万8000円

精神障がい者の在宅看護セミナー 東京会場

日時：2月16日(金)～18日(日)

会場：ヒューリックホール(東京都

台東区)

内容: 精神保健福祉の現状と動向／精神科訪問看護の動向と制度活用／精神障がい者を介護する家族支援について／精神障がい者及び家族を地域で支えるための社会資源と制度の活用／精神疾患と治療について／精神科訪問看護の基礎／日常生活の援助のポイント／精神障がい者及び介護者家族への医療継続支援について／精神障がい者及び介護者家族への対人関係の援助／精神科訪問看護の実際

講師: 佐々木彩(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課心の健康支援室主査), 寺田悦子(円グループ代表取締役), 遠藤真史(那須フロンティア作業療法士・相談支援専門員), 近藤直司(大正大学心理社会学部教授), 萱間真美(聖路加国際大学大学院精神看護学教授), 富川順子(大阪府立大学大学院看護学研究科准教授)

対象: 保健師, 看護師, 准看護師, 作業療法士

受講料: 会員 2 万円, 非会員 4 万円
※精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす 20 時間以上の研修に対応

※3 日間全講義受講者には修了証を発行

平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定セミナー

日時: 3 月 21 日(水・祝)

会場: 東京工科大学蒲田キャンパス(東京都大田区)

申し込み開始日: 12 月 13 日(水)

内容: 診療報酬改定と介護報酬改定の内容・留意点／新報酬の活用の仕方／訪問看護事業の展望など

講師: 佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事), 内野今日子(日本訪問看護財団看護専門相談員)

対象: 訪問看護従事者, 請求事務担当者など

受講料: 会員 8000 円, 非会員 1 万 8000 円

以下共通

申し込み方法: 下記 URL の申し込み

みフォームから

問い合わせ: 日本訪問看護財団 研修担当

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階

☎ 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

日本地域看護学会 第 21 回学術集会

日時: 8 月 11 日(土)・12 日(日)

会場: 長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)

メインテーマ: 実践者と教育研究者との連携による地域看護実践の改革
参加費:

[事前申し込み]

会員 9500 円, 非会員 1 万円, 学生(院生除く)2000 円

[当日受付]

会員 1 万 1000 円, 非会員 1 万 2000 円, 学生(院生除く)3000 円

[懇親会]

6000 円

申し込み方法: 学術集会ホームページ(<http://jachn21.yupia.net>)から参加登録後, 郵便局の払込取扱票に氏名・住所・電話番号・登録受付番号を明記の上, 「00150-3-550983 日本地域看護学会学術集会」に振り込む

申し込み期間: 1 月 10 日(水)~6 月 22 日(金)

一般演題・ワークショップ募集受付

期間: 1 月 10 日(水)~3 月 13 日(火) 12:00

※学術集会ホームページから

問い合わせ:

[学術集会全般]

事務局

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1 岐阜県立看護大学看護学部 地域基礎看護学領域内

☎ jachn2018@gifu-cn.ac.jp

[事前申し込み・演題募集など]

事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田

区池内町 3-21 ユピア内

FAX 050-3737-7331

☎ jachn21@yupia.net

日本家族看護学会 第 25 回学術集会

日時: 9 月 1 日(土)・2 日(日)

会場: 高知市文化プラザかるぼーと(高知県高知市)

テーマ: 家族看護学のグランドデザインへの挑戦

問い合わせ: 運営事務局

〒780-0072 高知県高知市杉井流 19-2 歳時記屋内

☎ 088-882-0333

FAX 088-882-0322

☎ info@jarfn25.com

URL <http://www.jarfn25.com/index.html>

html

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら, 本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

FAX 03-5804-0485

☎ hokenshi@igaku-shoin.co.jp